

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第26週 （6月25日～7月1日）

## ★お知らせ

### ○夏型感染症（手足口病・咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

例年、6月頃から報告数が増えはじめ7月頃にピークを迎える夏型感染症の報告が、増加傾向になりましたので、注意しましょう。

#### 手足口病

定点医療機関当たりの報告数は、第25週の0.73から第26週には1.17と増加しています。中央西で急減していますが、安芸、須崎、幡多で急増、中央東で増加し、安芸では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では、「手足口病流行の兆し」との報告があります。

病原体検出情報では臨床診断名「手足口病」として搬入された検体から Rhinovirus が2例、Enterovirus 71 が1例、Human herpes virus 7 が1例検出されています。また、その他の臨床診断名で搬入された検体からの手足口病・ヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスの検出状況としては、「不明発疹症」から Coxsackievirus A9 が1例、「突発性発疹」及び「なし」から Enterovirus 71 がそれぞれ1例検出されています。なかでも Enterovirus 71 は中枢神経系の合併症の発生率が高いことが知られ、まれに急性髄膜炎や急性脳炎を生ずることがあります。高熱・嘔吐・頭痛が見られる場合は十分に注意してください。

#### 咽頭結膜熱（プール熱）

定点医療機関当たりの報告数は、第25週の0.30から第26週は0.40と増加しています。須崎で減少していますが、幡多、中央東で急増し、中央西では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報ではアデノウイルスによる感染症8例の報告があります。

病原体検出情報でのアデノウイルスの検出状況は臨床診断名「なし」として搬入された検体から Adenovirus 2 が、臨床診断名「感染性胃腸炎」から Adenovirus 41 がそれぞれ1例ずつ検出されています。

<予防方法> これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。また、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第25週の3.60から第26週には3.97と横ばいです。県全域から報告があり、須崎で急減していますが、安芸、中央西で急増、中央東で増加しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス7例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎8例のほか感染性胃腸炎2例の報告があります。

病原体検出情報では、臨床診断名「感染性胃腸炎」として搬入された検体から、Norovirus GII NT が2例、Adenovirus 41 が1例検出されています。また、臨床診断名「なし」から Rotavirus group A G3 が1例検出されています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも7例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが、1年を通して発生しています。通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることから注意が必要です。また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。

<予防方法> 手洗いが有効です。

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確かめたうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kamren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kamren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

## ○百日咳に気を付けて！

第26週に百日咳の発生届けが中央東福祉保健所、中央西福祉保健所、須崎福祉保健所管内から各1例ずつ報告されました。2018年にはいって高知県内の百日咳の届出は合計115例となっています。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。そのため、比較的軽い症状の患者や感染しても症状が軽いため百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することも考えられることから注意してください。

＜予防方法＞ 飛沫感染予防には、手洗い、咳エチケットです

- ・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。
- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさけ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●国立感染症研究所 百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン

[https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis\\_guideline\\_180425.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis_guideline_180425.pdf)

## ○麻疹（はしか）にご注意下さい！

2018年3月20日に麻疹患者が報告されて以降、沖縄県内で麻疹患者の発生が続いていましたが、6月11日に、沖縄県における麻疹流行の終息を宣言しました。しかし、6月4日の週に福岡県及び愛知県で麻疹患者発生が報告されていることから引き続き注意が必要です。

### 県民の皆様にお願い

- 1、麻疹は予防接種により感染リスクが少なくなる疾患です。定期接種の対象者（1歳児、年長児）は接種対象期間中にかかりつけ医に相談し、2回接種を受けることが重要です。
- 2、麻疹を疑う症状（発熱、咳、鼻汁、その後発疹等）があった場合は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻疹を疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診し、周囲に感染を拡げないようにご注意ください。

### 各医療機関の皆様にお願い

- 1、発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、麻疹の可能性も考慮し、渡航歴・旅行歴・麻疹含有ワクチンの接種歴・麻疹罹患歴を確認するとともに、感染拡大予防策の徹底をお願い致します。
- 2、麻疹（疑い例を含む）診断時には管轄の保健所又は福祉保健所までご連絡をお願い致します。
- 3、職員への予防接種の推奨をお願い致します。

医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員等は、幼児、児童、体力の弱い者等麻疹に罹患すると重症化しやすい者と接する機会が多く、本人が麻疹を発症すると、多数の者に感染を引き起こしてしまう可能性が高いため、予防接種の推奨を行う必要があります。罹患歴や予防接種歴を確認していただき、風しん・麻疹（MR）ワクチン接種の考え方を参照し、予防接種を十分検討してください。（平成30年5月16日厚生労働省健康局結核感染症課長通知 麻疹の予防接種の推奨の周知について（協力依頼）より抜粋）

### ＜麻疹について＞

麻疹は空気感染する感染力の強いウイルス感染症です。

潜伏期間は10～12日間で、咳、鼻水、くしゃみ等の風邪様症状が出現、2～4日ほど続きます。その後、39度を超える高熱と発疹が出現します。発疹の出現する1日から2日前には頬の粘膜（口の中の頬の裏側）にやや隆起した1mm程度の白色の小さな斑点（コプリック斑）が出現します。合併症を引き起こさなければ、7～10日後には回復しますが、免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹りやすく、また、体力等が戻ってくるには1ヶ月程度を要することもあります。

### 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

### 風しん・麻疹（MR）ワクチン接種の考え方

[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/MRvaccine\\_20180417.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/MRvaccine_20180417.pdf)

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

## ☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間	12歳未満は 使用禁止	
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち上がったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

SFTS はマダニからの感染が一般的ですが、最近の研究で、SFTS ウイルスに感染し、発症している野生動物やイヌ・ネコなどの動物の血液から SFTS ウイルスが検出されています。このことは、SFTS ウイルスに感染している動物の血液などの体液に直接接触した場合、SFTS ウイルスに感染することも否定できませんので、動物に触った後は必ず手洗いをするなどの感染予防に努めましょう。また、体調不良の動物と接触した後、発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診してください。その際には、動物との接触歴についても申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

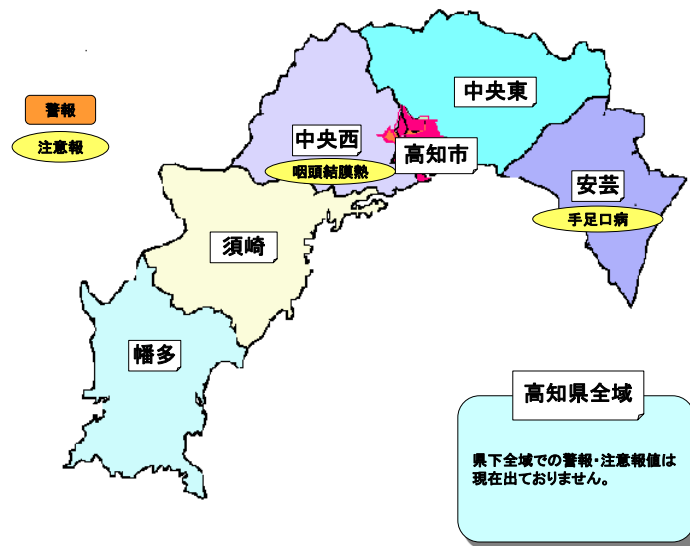
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増    ↗ : 増加    → : 横ばい    ↓ : 減少    ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3.97	須崎で急減していますが、安芸、中央西で急増、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.60	安芸で急減、中央東、中央西で減少していますが、幡多で増加しています。
手足口病	↗	1.17	中央西で急減していますが、安芸、須崎、幡多で急増、県全域、中央東で増加し、安芸では注意報値を超えています。
突発性発疹	↗	0.63	幡多で急減していますが、安芸、中央西で急増、県全域、高知市、中央東で増加しています。
咽頭結膜熱	↗	0.40	須崎で減少していますが、幡多、中央東で急増、県全域で増加し、中央西では注意報値を超えています。

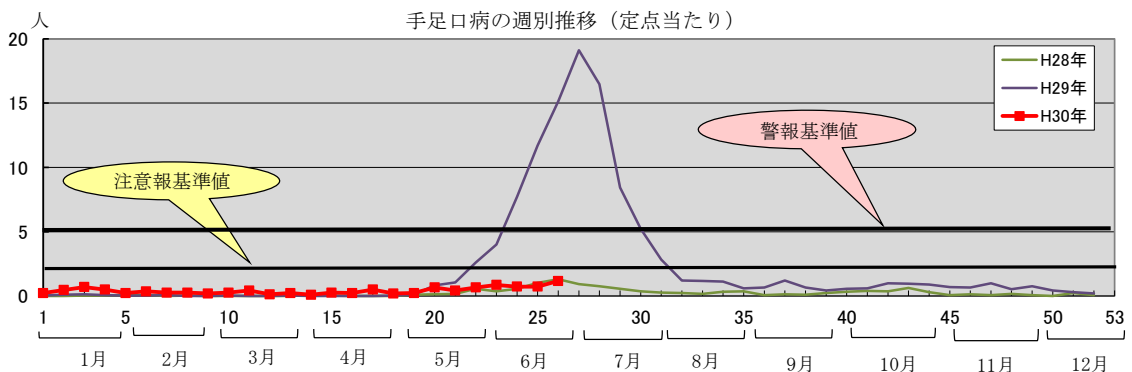
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

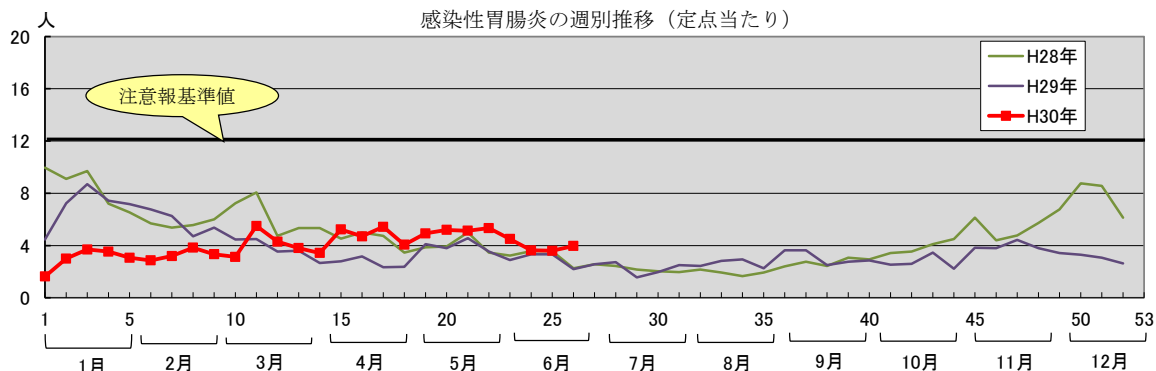
○手足口病 第26週：1.17（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.17（前週：0.73）と増加しています。中央西 0.00（前週：0.33）で急減していますが、安芸 2.00（前週：0.00）須崎 1.50（前週：0.00）幡多 1.40（前週：0.00）で急増、中央東 1.14（前週：0.86）で増加し、安芸では注意報値を超えています。年齢別に見ると、全ての患者が5歳以下となっています。



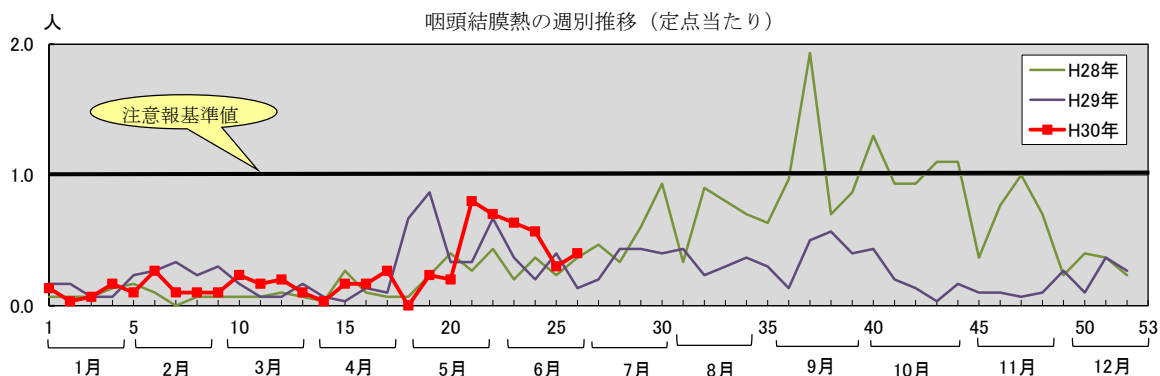
**○感染性胃腸炎 第26週：3.97 (注意報値：12.00 警報値：20.00)**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.97 (前週：3.60) と横ばいです。須崎 0.50 (前週：5.00) で急減していますが、安芸 7.50 (前週：2.00) 中央西 2.33 (前週：1.00) で急増、中央東 4.29 (前週：2.43) で増加しています。



**○咽頭結膜熱 第26週：0.40 (注意報値：1.00 警報値：3.00)**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.40 (前週：0.30) と増加しています。須崎 0.50 (前週：1.00) で減少していますが、幡多 0.60 (前週：0.00) 中央東 0.14 (前週：0.00) で急増し、中央西 1.00 (前週：1.00) では注意報値を超えています。



**★病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	8	男	須崎	Norovirus GII NT
26	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	11ヶ月	女	須崎	Norovirus GII NT
26	気管支炎	40℃,咳嗽,気管支炎,	1	女	高知市	Parainfluenza virus 3
26	気管支炎	40℃,咳嗽,気管支炎,	1	女	高知市	Parainfluenza virus 3
26	呼吸器感染	38℃,下痢,咳嗽,上気道炎,	1	男	中央東	Parainfluenza virus 3
26	—	38℃,咳嗽,	2	女	中央東	Parainfluenza virus 3
26	手足口病	発疹,	2	男	高知市	Rhinovirus
26	急性発疹症	37℃,発疹,	1	女	須崎	Rhinovirus
26	—	40℃,	2	男	幡多	Rotavirus group A G3

**前週以前に搬入**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	手足口病	発疹,口内炎,	5	女	高知市	Enterovirus 71
24	—	39℃,	14	女	幡多	Herpes simplex virus 1
25	—	40℃,咳嗽,	1	男	幡多	Enterovirus 71 Adenovirus 2
25	感染性胃腸炎	下痢,	1	女	幡多	Adenovirus 41
25	不明発疹症	39℃,発疹,	4	女	須崎	Coxsackievirus A9
25	不明発疹症	下痢,発疹,	5	男	須崎	Cytomegalovirus
25	突発性発しん	39℃,咳嗽,発疹,	6ヶ月	男	須崎	Enterovirus 71
25	不明発疹症	40℃,発疹,	1	男	須崎	Human herpes virus 6
25	—	39℃,咳嗽,発疹,	2	女	幡多	Human herpes virus 6
25	手足口病	39℃,発疹,	3	女	須崎	Human herpes virus 7
25	手足口病	39℃,下気道炎,	1	女	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5類	アメーバ赤痢	1	1	60歳代 男	高知市
	百日咳	1	115	50歳代 男	中央東
		1		15~19歳 男	中央西
		1		40歳代 女	須 崎

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎1例(1歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎4例(1歳男2人、4歳女2人)
	早明浦病院小児科	E.coli O-6 1例(3歳男)
	高知大学医学部付属病院小児科	アデノウイルス感染症1例(1歳男)
高知市	高知医療センター小児科	アデノウイルス1例(8ヶ月女)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎1例(3歳) 病原性大腸菌 O-1 腸炎1例(12歳) 病原性大腸菌 O-25 腸炎2例(1歳、16歳) 病原性大腸菌 O-166 腸炎1例(12歳) カンピロバクター腸炎1例(2歳) ノロウイルス腸炎2例(3歳、6歳)
	細木病院小児科	ノロウイルス4例(9ヶ月男、1歳2ヶ月男、2歳男、4歳男) キャンピロバクター1例(7歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症6例
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎2例(5ヶ月女:県外より帰省中、6歳女:須崎市)
	日高クリニック	百日咳1例(15歳男:Lamp法陽性)
	石黒小児科	口唇ヘルペス1例(13歳女)
須 崎	もりはた小児科	手足口病流行の兆し。現在まで分離ウイルスは EntV71 百日咳1例(45歳女)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性2例(7ヶ月男、2歳男)
	こいけクリニック	出血性腸炎1例(3歳男:キャンピロバクター陽性)
	さたけ小児科	hMPV 1例(1歳女) アデノ 1例(1歳男)

★全国情報

第24号(6月11日~6月17日)

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核315例
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症120例
- 4類感染症: E型肝炎7例、A型肝炎26例、コクシジオイデス症1例、重症熱性血小板減少症候群4例  
つつが虫病5例、デング熱3例、日本紅斑熱6例、ブルセラ症1例、マラリア3例  
レジオネラ症63例
- 5類感染症: アメーバ赤痢9例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性弛緩性麻痺1例  
急性脳炎8例、クリプトスポリジウム症2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群16例  
ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例、侵襲性肺炎球菌感染症41例  
水痘(入院例に限る)9例、梅毒85例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、百日咳143例、風しん1例、麻しん1例  
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

削除予定: A型肝炎1例、水痘(入院例に限る)1例

報告遅れ: E型肝炎2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症4例、  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎2例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘(入院例に限る)5例、梅毒67例、  
播種性クリプトコックス症1例、百日咳64例、風しん1例、麻しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第26週 平成30年6月25日(月)～平成30年7月1日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週末累計)		全国(25週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/1				H30/1/1～H30/6/24			
インフルエンザ	インフルエンザ								( )	1 ( 0.02)	434 ( 0.09)	20,862 ( 434.63)	1,757,965 ( 355.94)			
小児科	咽頭結核熱		1	4	3	1	3	12 ( 0.40)	9 ( 0.30)	2,481 ( 0.79)	187 ( 6.23)	34,276 ( 10.87)				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	28	3	4	5	48 ( 1.60)	56 ( 1.87)	9,126 ( 2.89)	1,160 ( 38.67)	197,264 ( 62.54)				
	感染性胃腸炎	15	30	53	7	1	13	119 ( 3.97)	108 ( 3.60)	19,180 ( 6.07)	3,122 ( 104.07)	430,820 ( 136.59)				
	水痘		1	4			2	7 ( 0.23)	4 ( 0.13)	1,225 ( 0.39)	141 ( 4.70)	26,261 ( 8.33)				
	手足口病	4	8	13			3	7 ( 0.23)	22 ( 0.73)	3,926 ( 1.24)	333 ( 11.10)	30,900 ( 9.80)				
	伝染性紅斑				1			1 ( 0.03)	6 ( 0.20)	1,116 ( 0.35)	42 ( 1.40)	9,668 ( 3.07)				
	突発性発疹	2	5	11	1			19 ( 0.63)	12 ( 0.40)	1,717 ( 0.54)	274 ( 9.13)	33,964 ( 10.77)				
	ヘルパンギーナ	1		3			1	5 ( 0.17)	2 ( 0.07)	2,032 ( 0.64)	26 ( 0.87)	6,930 ( 2.20)				
	流行性耳下腺炎		1					2 ( 0.07)	3 ( 0.10)	609 ( 0.19)	31 ( 1.03)	12,183 ( 3.86)				
	RSウイルス感染症		2					2 ( 0.07)	4 ( 0.13)	1,130 ( 0.36)	194 ( 6.47)	29,286 ( 9.29)				
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	18 ( 0.03)	( )	347 ( 0.50)				
	流行性角結膜炎	2		1				3 ( 1.00)	1 ( 0.33)	651 ( 0.93)	20 ( 6.67)	13,180 ( 18.91)				
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	8 ( 0.02)	3 ( 0.38)	234 ( 0.49)				
	無菌性髄膜炎							( )	( )	21 ( 0.04)	1 ( 0.13)	284 ( 0.59)				
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.25)	1 ( 0.13)	60 ( 0.13)	43 ( 5.38)	1,875 ( 3.92)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	( )	1 ( )	12 ( 1.50)	85 ( 0.18)				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							( )	1 ( 0.13)	30 ( 0.06)	28 ( 3.50)	2,928 ( 6.13)				
	計(小児科定点当たり人数)	24 ( 11.00)	56 ( 7.99)	120 ( 10.63)	14 ( 4.66)	12 ( 6.00)	29 ( 5.80)	255 ( 8.34)		230 ( 7.55)	43,765	26,479 ( 618.30)	2,588,450			

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第26週							計	前週	全国(25週)	高知県(26週末累計)		全国(25週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/1				H30/1/1～H30/6/24			
インフルエンザ	インフルエンザ									0.02	0.09	434.63	355.94			
小児科	咽頭結核熱		0.14	0.36	1.00	0.50	0.60	0.40	0.30	0.79	6.23	10.87				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.14	2.55	1.00	2.00	1.00	1.60	1.87	2.89	38.67	62.54				
	感染性胃腸炎	7.50	4.29	4.82	2.33	0.50	2.60	3.97	3.60	6.07	104.07	136.59				
	水痘		0.14	0.36			1.00	0.23	0.13	0.39	4.70	8.33				
	手足口病	2.00	1.14	1.18			1.50	1.40	1.17	0.73	1.24	11.10	9.80			
	伝染性紅斑				0.09				0.03	0.20	0.35	1.40	3.07			
	突発性発疹	1.00	0.71	1.00	0.33				0.63	0.40	0.54	9.13	10.77			
	ヘルパンギーナ	0.50		0.27			0.50	0.17	0.07	0.07	0.64	0.87	2.20			
	流行性耳下腺炎		0.14						0.07	0.10	0.19	1.03	3.86			
	RSウイルス感染症		0.29						0.07	0.13	0.36	6.47	9.29			
眼科	急性出血性結膜炎										0.03	0.50				
	流行性角結膜炎	2.00		1.00				1.00	0.33	0.93	6.67	18.91				
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.38	0.49				
	無菌性髄膜炎									0.04	0.13	0.59				
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25	0.13	0.13	5.38	3.92				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										1.50	0.18				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								0.13	0.06	3.50	6.13				
	計(小児科定点当たり人数)	11.00	7.99	10.63	4.66	6.00	5.80	8.34		7.55		618.30				
前週(小児科定点当たり人数)	4.50	5.52	11.90	4.33	8.00	3.80										

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
 TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869  
 この情報に記載のデータは2018年7月2日現在の情報により作成  
 しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ  
 りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。